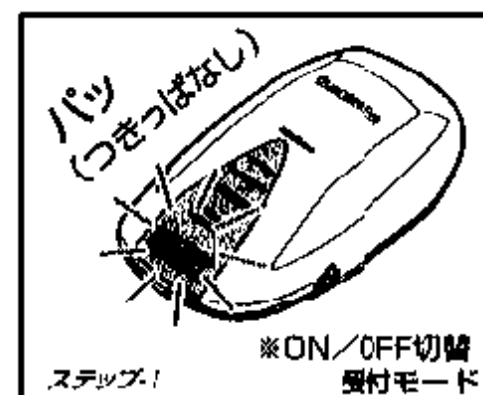


スタンバイモード時間の切替方法

エンジン停止直後に電圧が安定しないために、エンジン停止直後に警報機をセットすると電圧パルスセンサーが反応してしまう車両があります。このような場合は、スタンバイモード時間を30秒へ切替えて下さい。

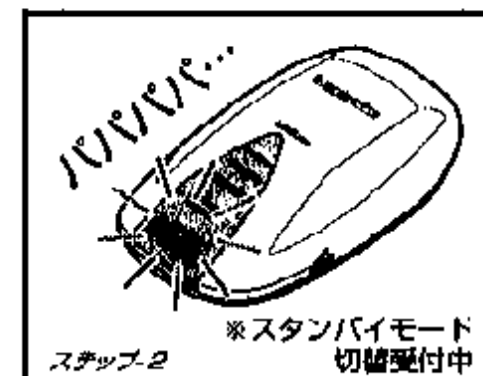
ステップ1 警報機本体上面のモード切替ボタンをセキュリティインジケータが点灯するまで長押しします。(約1秒)

この時警報機本体は、電圧パルスセンサー ON/OFF切替受付モードとなり、セキュリティインジケータは連続点灯となります。



ステップ2 もう一度、モード切替ボタンをセキュリティインジケータが連続点灯から速い点滅に変わるまで長押しします。(約1秒)

この時警報機本体は、スタンバイモード時間切替受付モードとなり、セキュリティインジケータは速い点滅をし続けます。

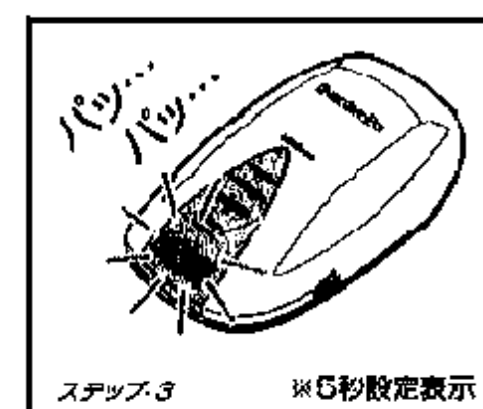


ステップ3 セキュリティインジケータが速い点滅をしている状態で、モード切替ボタンを1回チョン押しします。

この時セキュリティインジケータは、1秒に1回の点滅を始めます。

メモ

セキュリティインジケータの1回/秒の点滅は、スタンバイモード時間が5秒に設定されていることを表しています。お取り付け時(初期状態)は5秒設定になっています。



Point!

セキュリティインジケータが速い点滅ではなく1秒に1回の点滅を始めたら...

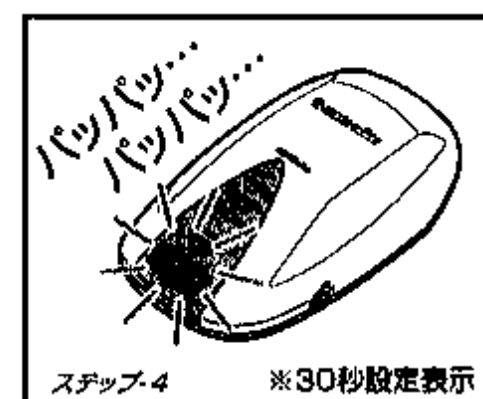
モード切替ボタンを長押しではなくチョン押ししてしまうと、電圧パルスセンサー ON設定表示になってしまいます。もし、セキュリティインジケータが速い点滅ではなく1秒に1回の点滅を始めたら、モード切替ボタンを連続で2回チョン押しして下さい。セキュリティインジケータは消灯し、設定操作を行う前の状態に戻ります。その後、改めてステップ1からやり直して下さい。

ステップ4 セキュリティインジケータが1秒に1回の点滅をすることを確認した上で、もう一度モード切替ボタンをチョン押しします。

この時、セキュリティインジケータは1秒に2回の点滅を始めます。

メモ

セキュリティインジケータの2回/秒の点滅は、スタンバイモード時間が30秒に設定されていることを表しています。



Point!

セキュリティインジケータの点滅パターンでスタンバイモード時間の設定モードが確認出来ます。

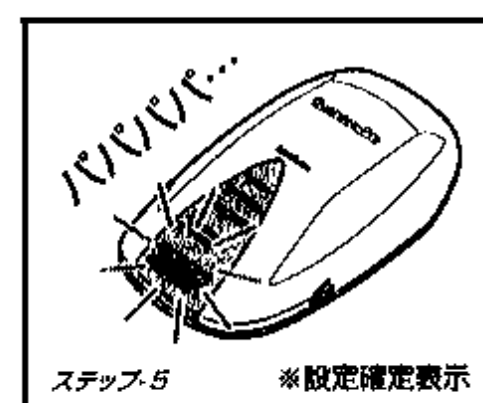
モード切替ボタンをチョン押しする毎にスタンバイモード時間の設定は、5秒→30秒→5秒...と順に切り替わります。5秒、30秒のどちらになっているかはセキュリティインジケータの点滅パターンで確認して下さい。

- ・1秒に1回の点滅をしているとき→「5秒」
- ・1秒に2回の点滅をしているとき→「30秒」

ステップ5 5秒/30秒の設定を決めたら、モード切替ボタンをセキュリティインジケータが速い点滅に変わるまで長押しします。(約1秒)

メモ

セキュリティインジケータが速い点滅に変わった時点でスタンバイモード時間の設定が決定されます。



ステップ6 セキュリティインジケータが速い点滅をしている状態で、モード切替ボタンを1回チョン押しします。

この時セキュリティインジケータは消灯します。

OK!

以上でスタンバイモード時間の時間設定は終了です。

注意

車種別専用ハーネスや車両のバッテリーを外したり、警報機とエンジンスターターとの接続を外すと、スタンバイモード時間の設定は5秒に戻ります。30秒設定でご使用の場合は、再度切替え操作を行って下さい。